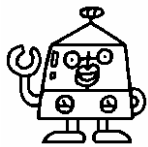


メダカにそっくりの魚は、なんなの



川などで見つかるメダカに似た魚は、カダヤシとよばれるグッピーのなかまだよ。

カダヤシは、力をたいじするために外国からつれてこられた

カダヤシは、力の^{ようちゅう}幼虫であるボウフラを食べてくれるということで、80年ぐらい前に、海外から日本にもちこまれた魚です。力を絶^たやすから「カダヤシ」という名がついたのですが、熱帯魚のグッピーと同じなかまです。

カダヤシは、グッピーなどと同じように、おなかの中でたまごがかえり、たまごではなく子魚を産みます。そのため、ほかの魚に食われることが少なく、よくふえます。また、よごれた水や温度の変化にも強く、メダカやほかの魚のたまごなどを食べて、どんどんふえていきました。

むかしは、日本全国どこの池や小川でも見られたメダカが、今ほとんど見られなくなった^{げんいん}原因の一つに、このカダヤシがふえ広がったことがあげられています。

メダカとカダヤシを見分けるのは、しりびれの形やついている位置

カダヤシはメダカより少し大きく、しりびれの形にちがいががあります。メダカのしりびれは、オスもメスも長方形で角ばっています。カダヤシのしりびれは、オスは細くとがっていて、メスのは丸いです。また、メダカはしりびれとせびれの後ろがそろっていますが、カダヤシは、しりびれがせびれより頭に近いところについています。

